

カリフォルニアの風（9月号）

夏休みが終わり、皆さんの元気な姿が見られるようになりました。

大きなけがも事故もなく、これまでと同じように「よく学び、よく遊ぶ」皆さんを見られることができ、本当によかったと思っています。

背が高くなって、日に焼けた顔つきからは、たくましさを感じられ、いろいろな体験ができたというお便りやお話から、夏休みがとても充実していたことが分かります。一緒に歩んでくれたお家の人に精いっぱい感謝の気持ちを、時をおかずに伝えてくださいね。

さて、9月になり、季節は「秋」。秋というと、「〇〇の秋」という言い方をしますが、あなたなら〇〇にどんなことばを入れますか。「スポーツ」「芸術」「食欲」「読書」「……」、かな。

その中の「食欲」を選んで、「心の食事」について考えたいと思います。

「心の食事！って、何だろう？」。なんのことか、想像がつく人はいますか。

ヒントは「一日に4回の食事」です。「えー、一日に4回も！」。そうです。三食「朝ごはん、昼ごはん、晩ごはん」の他に、もう一食、「本ごはん」をとってほしいと思っています。三食は、「体」の栄養になる食事。では「本ごはん」は、「心」の栄養になるもので、それを「毎日」とってほしいと思っています。それは、なぜだと思いますか。

なぜなら、だれもが感受性といって、「ものを感じとる能力」があります。それがあなたの今の時期は、とても豊かで、この時期に、体験を積み重ねてほしいと思っているからです。

「えっ、体験なら夏休みにいろいろしたよ」という声が聞こえてきそうです。その「直接体験」はとても貴重です。でも、いくらでもできるものではありません。

その点、「本ごはん（読書）」なら、一行一行文章を読みながら、その様子を頭の中のスクリーンに映し、心でそれを見たり想像したりできます。それが実際に見たことがない風景でも、文を読みとることによって、その場面を心に浮かべることができます。ひょっとしたら、時間も空間も年れいも性別も越えて、いろいろな人と意思の疎通を図ることができるかもしれません。

心に風景を浮かべたり喜怒哀楽を感じたり、意思の疎通を図る体験のような「間接体験」なら、自分から本にかかわろうとすることで、いくらでもできると思います。また、文学、歴史、伝記などといった様々な本を読むことで、人が成し遂げてきたことを学ぶこともできます。

今の時期は、このような「間接体験」も、「直接体験」とともに積み重ねてほしいと思っています。それは、「世界の架け橋」になる人には、「対話し協働する力」があります。また、教養や見識もあります。世界に出たら、話す手段より話す内容を整えることが先決になるからです。

そこで、「〇〇の秋」は、自発的に本に親しむときにしてほしいと思っています。

先日、サンノゼ幼小校で、保護者会の皆様が中心になっていただき、「古本市」が行われました。

その場に居合わせることができませんでしたが、皆さんの「どんな本にしようかな」と選んでいる姿、その場でお世話してくださっているお家の人たちに「ありがとうございます」とお礼を伝えている姿が心に浮かんでいます。

保護者の皆様へ

児童生徒たちが、本とかかわれる機会をつくっていただき、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

今後は、他3校もお世話になることになります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、夏休み明け初日に行いました、サンノゼ・サンフランシスコ両幼小校の「夏休み作品展」に足をお運びいただき、ありがとうございました。

一つの学校では、展示数が450点を超えており、ご家庭でのご協力に感謝申し上げます。

子どもたちのすばらしい作品の数々に、私はいろんなことを教わりました。

当日、出入り口で、参観されました皆様に「いかがでしたか。」とおたずねしました。回答いただき、ありがとうございました。以下は、そのときいただいた皆様の声です。

- ・着眼点のよさ、ディスプレイの工夫のよさに、驚いています。
- ・学年が上がるにつれて、とくに3年生になると、ぐっとレベルが上がっていました。
- ・夏休み前に学習した内容や、一時帰国の体験からテーマが設定されていると思いました。
- ・創意工夫のよさに、びっくりしました。予想以上でした。家に帰って、子どもに「どう思ったか聞いてみよう」と思います。「どんな刺激を受けたか」も。
- ・私の知らないことを知ることができ、参考になった。とても楽しかった。
- ・目の付け所、アイデアがすばらしい。
- ・授業内容をきっかけにしたり、日本での体験をきっかけにしたりしていると思いました。とても楽しかった。
- ・こういうのはいいですね。

実際に見て、体験して、体を動かしてテーマを決めたり、興味のあることを掘り下げたりしてまとめる活動は、日本でもなかった行事です。これからも続けてください。

- ・一日だけで（展示を）終えるのはもったいないですね。
- ・「触れないでください」と言われても、触れないと内容を読むことができません。触れていいものと、そうでないものを分けて展示するというのはいかがでしょうか。
- ・参観する時間が少ないですね。
- ・日本の歴史と深くかかわるテーマがあって、勉強になりました。
- ・ディスプレイが大型化すると、内容も濃くなるのが分かりました。
- ・レベルが高い、日本の学校よりも。なぜなのでしょう。

「なぜなのでしょう。」

そのことについて、これから深く考えてみようと思っています。

整理し、次回以降、まとめた内容をこの場をお借りしてお知らせする予定であります。

子どもたちが、前のめりになって観ている姿が、今も強く心に残っています。